

ことば編②

発音がはっきりしない子って

おしゃかな、
しゅき～



どんな時？こんな理由かな？

- 発音する時につかっている、唇や舌を上手に使うのが難しい。
- ことばを構成している音の認識が未熟。

こんな支援が助かります！

- 誤った発音でも否定や言い直しはしない。×「ちえんちえー、じゃなくて、せ・ん・せ・ー」
- 正しい見本をさりげなく示す。○「せんせー、なあに？」
- 話し方でなく、話の内容をよく聞く。発音のせいで会話が途切れないように、子どもの伝えたい気持ちを大切にします。
- 年中さん以上のお子さんなら、「あ」のつくことばはなあに？（答え…蟻、雨、アイスなど.）、
「どれにしようかな？」「おせんべい焼けたかな？」のような遊びやしりとりなどの遊びを通して、ことばを構成する音の意識を高める。（4歳頃になるとことばを構成している音を分解できるようになると言われている。例：「みかん」なら「み」と「か」と「ん」の3つの音でできていることがわかる。）

発音の完成年齢

私たちはことばを話す時、意識することなく舌や唇を複雑に動かしています。細かい動きが求められる音ほど発音するのが難しくなります。

2歳代…パ行・バ行・マ行・ヤ行・ワ・ン・母音

3歳代…タ行・ダ行・ナ行

4歳代…カ行・ガ行・ハ行

5歳代…サ行・ザ行・ラ行・ツ

3～4歳なら「おしゃかな（おさかな）」でも心配ないことがわかりますね。

発音を育てるヒント

生活や遊びの中の経験から発音する力が育っていきます。

食事：一口量をかじりとり、しっかり噛んで食べる。

息を吐く・吹く：鏡や窓ガラスを曇らせる、ラッパや笛、シャボン玉、熱いスープを「ふーふー」冷ます。

なめる：棒つき飴・アイス进行ペロペロなめる、食事で口の周りが汚れたら、すぐに拭き取らず、なめとらせてみましょう。

うがい：ブクブクうがいは、パ行などの唇を使った音が上手になりますよ。ガラガラうがいはカ行・ガ行に効果的です！